

<化合物本来の薬効を正確に評価>

ヘパリンロック等を必要としない、薬液注入ルートを確認する

Application Note

埋込式プログラム可能マイクロインフュージョンポンプ

iPRECIO[®]

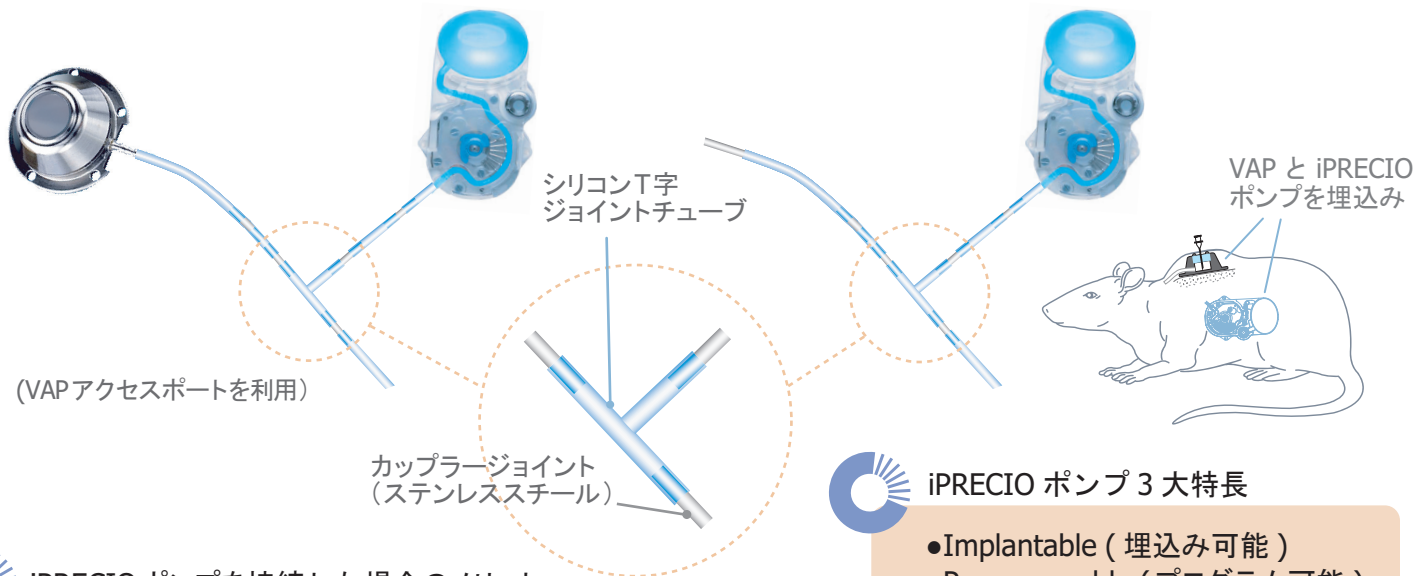
ヘパリン等抗凝固薬が使用できない薬効評価試験に最適です！

これまで、医薬品開発研究における実験動物への投薬・体液採取試験では、静注ルートを維持するために、静脈留置カテーテル等に対し、ヘパリンロックとともに定期的なフラッシングが実施されています。

しかしながら、それらの作業は通常の動物飼育環境に変化を与えるばかりでなく、動物本来の生理機能(サーカディアンリズム等)への影響や、ロック時に使用する抗凝固薬の副作用等、試験物質の正確な薬効評価を行う上で大きな障害になっています。

iPRECIOマイクロインフュージョンポンプは、動物に留置するカテーテルと併設したルートから、同カテーテル内に、生理食塩水を長期持続注入(微量)することができます。このことにより、カテーテル内への体液(血液等)の逆流・滞留による凝固等を防ぐとともに、注入速度も非常に小さいため(1~30 μ L/hour)、同カテーテルでの体液サンプル採取時の成分に対する影響を最小限に抑えることが可能です。また、生理食塩水補充時のハンドリング頻度も少なくすることができるため、ストレス等による外的刺激要因も低減します。

※ iPRECIOポンプを回路内に配置し、生理食塩水を持続注入する場合のイメージ



iPRECIOポンプを接続した場合のメリット

- 留置カテーテルにヘパリンロック・定期的なフラッシングが不要
- 抗凝固薬の使用が不要で、副作用のリスクも回避可能
- 連続的にカテーテル内に生理食塩水を注入することができ、カテーテル内の凝固を低減可能
- 留置カテーテルへの採取血液・体液の逆流を回避可能
- ポンプによる自動生食注入の為、動物に手を触れる機会が少なく、動物の生理機能を乱さずに評価可能
- 生理食塩水の微量注入により、サンプリングした血液・体液の成分への影響を回避可能

iPRECIOポンプ3大特長

- Implantable (埋込み可能)
- Programmable (プログラム可能)
- Refillable (薬液交換可能)



iPRECIO総発売元

プライムテック株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル9F

[Phone] 03-3816-0851 [eMail] iprecio@primetech.co.jp

[URL] <http://www.iprecio.com/> <http://www.primetech.co.jp/>

